

アジア太平洋戦争の「隠された真実」に迫る!

～「サイパン・テニアンに戦争遺跡を訪ねる旅」報告会～

京都歴史教育者協議会

【連絡先】〒611-0031 宇治市広野町八軒屋谷33-1 立命館宇治高校気付 森口 等
☎0774-41-3000 FAX☎0774-41-3555 メール moriguti@ujc.ritsume.ac.jp

【テーマ】 「サイパン・テニアンに戦争遺跡を訪ねる旅」で学んだこと
【報告者】 奥村 英継さん(京都府立乙訓高校)など旅の参加者のみなさん
【日時】 1/29(土) 15:00~17:20(予定)
【場所】 同志社大学今出川キャンパス クローバーハウス2階

～地下鉄「今出川」下車3番出口を出て烏丸今出川交差点を東に進み、すぐの木製の門を入り右の2階建ての建物の2階、市バス「烏丸今出川」(河原町通り方面行き)下車徒歩すぐ～

【報告要旨】 沖縄平和ネット主催の「サイパン・テニアン戦跡と平和の旅」(2010年12月25日~30日)に参加し、戦争遺跡や日本移民史遺構、原爆搭載地点などを訪ねた旅についての報告です。

「サイパン・テニアン戦跡と平和の旅」のねらいは次の七点でした。

(1)【戦争の実相】 沖縄戦の縮図であったサイパンやテニアンでの日米の戦いを現地リアルに学ぶとともに、住民がどのようにして「集団自決」に追い込まれていったかを戦争遺跡を通して検証する。

(2)【日本移民史】 沖縄県出身者が六割以上を占めるサイパンやテニアンの製糖業遺構や、村々の神社、南洋興発株式会社や日本人街の跡地を実地踏査し、戦争前の沖縄移民の人々の様子を知る。

(3)【原爆の投下】 B29が飛び立ったアスリート飛行場(サイパン)やエーブル滑走路(テニアン、広島・長崎への原爆投下)を調査し、アジア太平洋戦争のなかでのサイパン・テニアン、沖縄の歴史的位置を知る。

(4)【米国の視点】 アメリカン・メモリアル・パーク内にある米軍資料の検討などから、アメリカがこの戦争をどう見ていたかについて学ぶ。

(5)【先住民の視点】 北マリアナ政府の資料から、チャモロやカナカといわれる先住民たちがどのように戦争に巻き込まれていったかを学習する。

(6) 平和の旅の参加者間の交流を深め、沖縄と首都圏、関西を結ぶネットワークを育てるとともに、若手の参加を募り沖縄平和ネットで蓄積された財産を次世代に伝えていく契機とする。

(7) 若者や家族連れにも参加しやすくするため、経費を抑えるとともに、戦争遺跡調査だけでなく、マリンスポーツや各種オプションなどを行う時間的余裕も考えました。

戦争学習や近現代史学習、現在の北マリアナ連邦などについての最新情報について、映像を交えながらレポートします。

* 2月例会は、2/4(金)に実施される「立命館宇治中学・高校社会科学公開授業研究会」を例会として、実施します。多数ご参加を! HPからの申し込みをよろしくお願ひします。

